

平成28年度
技術監理室予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度技術監理室予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

1 平成28年度技術監理室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度技術監理室予算要求総括表

【一般会計】

平成28年度要求総額 101,851千円
 (平成27年度予算額 103,125千円)
 前年度比 98.8%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成28年度 予算要求額 (A) | 平成27年度 予算額 (B) | 増減 (A-B) |
|--------------------|------------------------|----------------------|-------------|
| 新土木・プラント積算システム更新業務 | 9,720 | 0 | 9,720 |
| 新電子納品保管管理システム改修業務 | 2,636 | 0 | 2,636 |
| 技術管理関連業務 | 65,535 | 65,181 | 354 |
| 建設材料試験場管理運営事業 | 9,687 | 9,687 | 0 |

(2) 平成28年度技術監理室経営方針

技術監理室は、建設行政の様々な課題に対し、建設系事業部局を技術面や人材面などを含めて総合的に支援・指導する組織です。

平成28年度も、公共工事の品質確保や、安全な公共工事の実施などに取り組みます。

① 公共工事の品質確保

- ・公共工事の適正な執行を図るため、設計単価の設定及び設計積算基準等の整備、更新に取り組みます。
- ・公共工事の発注に際しては、価格に加え品質を高めるための創意工夫や施工実績などの要素を評価して落札者を決定する総合評価落札方式に取り組みます。
- ・公共工事の設計、施工のチェック機能を的確に発揮し、公共工事の品質の確保・向上を図ります。

② 安全な公共工事の実施

- ・市と受注者が一体となって安全な工事の実施を図り、本市発注の建設工事において労働災害の撲滅をめざします。

③ 持続可能な循環型社会の構築

- ・公共工事において、環境に配慮するとともに、建設副産物の再資源化や建設リサイクル資材の利用促進により建設リサイクルの推進を図り、資源循環型社会への転換に取り組みます。

④ 技術職員の人材育成

- ・平成25年4月に策定した「技術職員人材育成プラン」に基づき、次世代を担う技術職員の人材育成に取り組みます。

⑤ 建設業の担い手確保

- ・公共事業を支える建設業の担い手を確保するため、建設業のPRに取り組みます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 適正な工事価格の設定

- ・技術監理関連業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・65,535千円
 - ・**新規**土木・プラント積算システム更新業務
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9,720千円
 - ・**新規**電子納品保管管理システム改修業務・・・・2,636千円
- 市場動向を適切に反映した設計単価の設定と、施工実態を反映した設計積算基準等の整備により、適正な工事価格の設定に努めます。

(2) 総合評価落札方式制度の充実

総合評価落札方式に継続的に取り組むとともに、より優良な社会資本の整備が図られるよう評価項目を検討するなど制度の充実を図ります。

(3) 公共工事の品質確保と安全性の向上

- ・公共工事安全対策強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・1,171千円
- 完成後の工事検査だけではなく、施工計画書点検や中間技術検査、安全点検などにより施工中の工事を監理し、必要な指導を行うことで公共工事の品質と安全性の向上に努めます。

(4) 職員の技術力維持向上

実習形式の研修を重点的に実施し、より実務に即したノウハウの習得を図り職員の技術力維持向上に努めます。

(5) 将来の建設業の担い手の確保育成

- ・明日の公共事業を支える人材確保・育成事業
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,754千円
- 公共事業を支える若年就業者の減少が顕著に見られ、将来のインフラ管理に携わる担い手不足が懸念されることを踏まえ、産学官が連携し、建設業のPRに積極的に取り組み、将来の建設業の担い手を確保育成します。